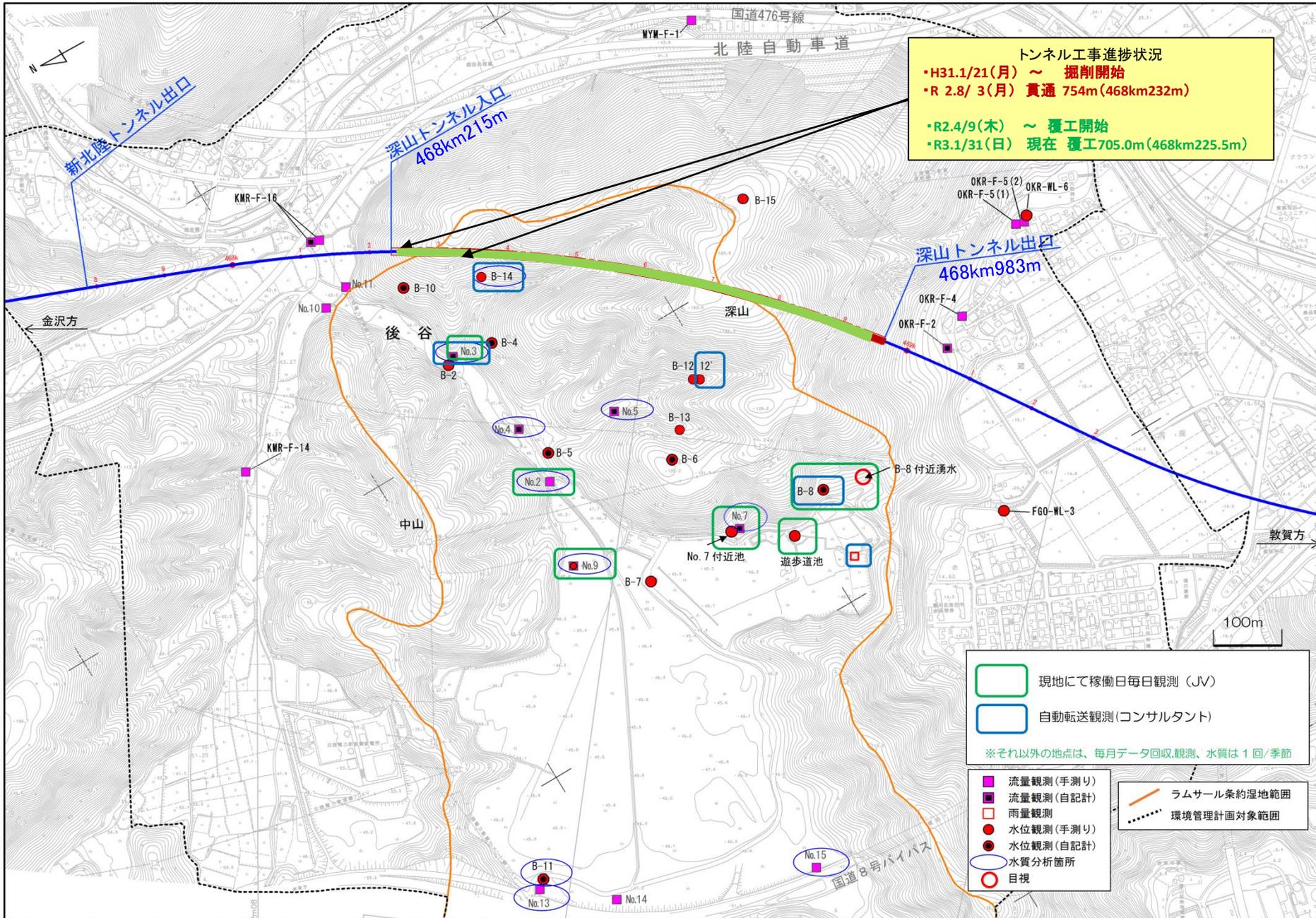


# 深山トンネル水文調査モニタリング報告書

調査期間：令和3年2月1日（月）～令和3年2月28日（日）

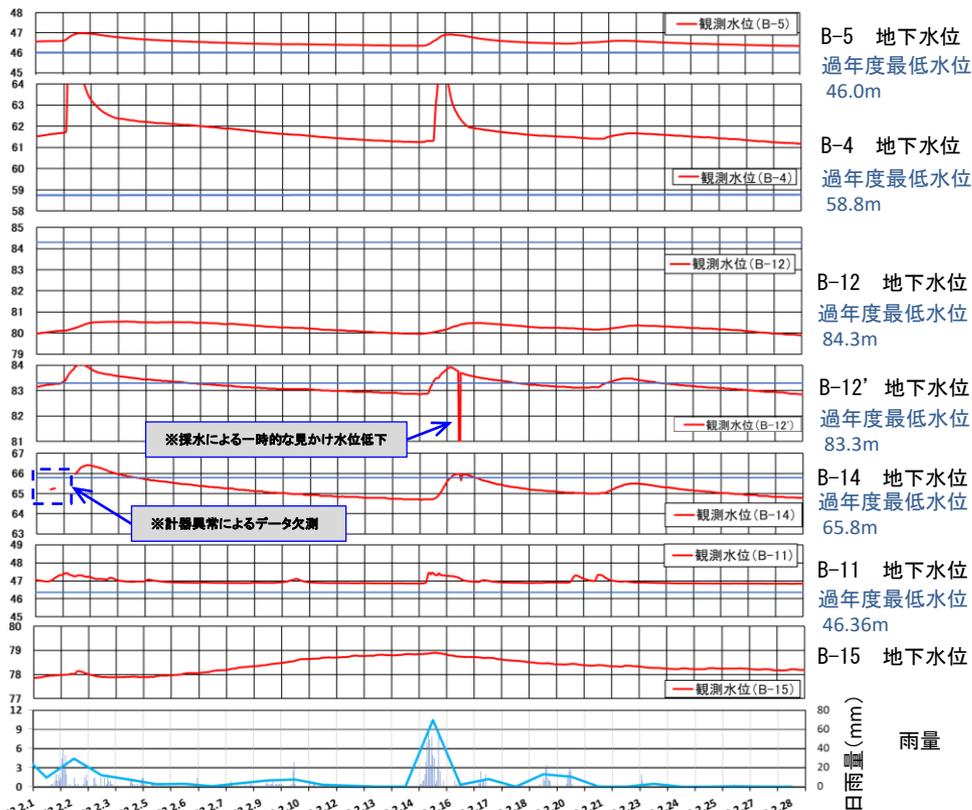
「北陸新幹線、中池見湿地付近深山トンネル等工事に係る環境管理計画」に基づき実施している水文環境モニタリング結果について報告する。



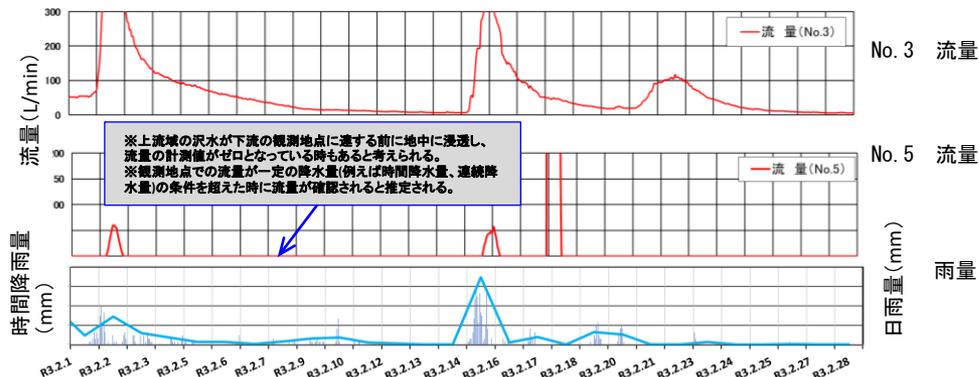
水文環境モニタリング観測地点図

※主要箇所のみ抜粋

地下水位観測結果図(自記記録)



流量観測結果図(自記記録)



全体総括

- 目立った変動なし □やや変動あり
- 変動あり(注意体制への移行を検討)
- 期間中の地下水位低下量
  - 1m未満ないし増加:すべて
  - 2m未満 □5m未満 □5m以上
- 期間中の流量低下量
  - 50ℓ/分未満ないし増加:すべて □50ℓ/分以上
- 期間中のpH変動量
  - 0.5未満:B-8,B-12 □0.5以上 □1以上
- 日降水量
  - 15mm未満 ■15mm以上:1日 ■50mm以上:1日
- 月降水量
  - 80mm未満 □80mm以上 ■130mm以上 □200mm以上

概要

- 水位変動について
  - ①目立った変動なし。
  - ②B-4(自記水位計):2日,15日を中心とした降水に水位変動を示すも概ね一定した水位を示す。
  - ③B-12(自記水位計):2日,15日を中心とした降水で若干水位変動を示すも概ね一定した水位を示し、引き続き過年度最低値を下回っている(先月,今月Δ4.2m)。⇒今後も注視する。なお、pHの値の変化はみられない。
  - ④B-12'(自動転送):2日,15日を中心とした降水で上昇し、一時的に過年度最低値を上回るも概ね一定した水位を示す。今後も注視していく。
  - ⑤B-14(自動転送):2日,15日を中心とした降水で上昇し、一時的に過年度最低値を上回るも概ね一定した水位を示す。引き続き注視していく。
  - ⑥B-15(自記水位計):期間半ばで1m程の水位上昇がみられ、期間末では期間当初と同様な水位を示す。比較的路線に近い観測地点でもあるので、今後も注視していく。
  - ⑦No.3(自動転送):2日,15日を中心とした降水で流量が大幅に増加したが、期間末は減少傾向である。
  - ⑧No.5(自記):2日,15日を中心とした降水で流量が一時的に確認されるがそれ以外は流量0となる。
- ⇒少雨や大雨の数日後の状況として、当該上流域の沢水が下流の観測地点に達する前に地中に浸透することにより流量の計測値がゼロとなっている状況がある。
- ⇒観測地点での流量が一定の降水量(例えば時間降水量、連続降水量)の条件を超えた時に流量が確認されると推定される。
- 降水量について
  - ①日最大降水量:2/15の69.5mmである。
  - ⇒1月の日最大降水量は49.0mmであった。
  - ②月の降水量:190.0mmである。
  - ⇒1月の月降水量は320.0mmであった。